

**【川崎市】**  
**ネットワーク整備について**

**1 必要なネットワーク速度が確保できている学校数及び総学校数に占める割合（％）**

(1) 学校数（令和7年3月末時点）

1校（文部科学省が令和6年4月に示した「学校規模ごとの当面の推奨帯域」を確保できている学校）／170校（総学校数）

(2) 割合

0.59%

**2 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール**

(1) 前提

本市では、G I G A端末を使用する通信環境の構築時に、10Gbps 対応の機器等を導入している。したがって、G I G A端末を使用する通信環境については、校内のネットワーク機器等がボトルネックとなっていることを考慮したアセスメントは実施する必要がないため、通信環境における課題の特定に当たっては、主として回線速度やセッション数等、校内から外部への通信に際して生じる課題を調査する。

(2) ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

次のとおりネットワーク調査を実施済み

ア 通信事業者によるネットワークアセスメント

(ア) 実施時期及び実施校数

令和3年度2校、令和4年度7校、令和5年度7校、令和6年度7校

(イ) 実施方法

ネットワーク速度のほか、時間帯別のアクセス状況、セッション数の状況、校内の無線LAN環境等をサンプリング調査

イ 本市によるネットワーク速度調査

(ア) 実施時期及び実施校数

令和6年6月、170校（市内全校）

(イ) 実施方法

各学校にて、授業によるネットワーク利用のない時間帯に1人1台端末を用いて速度調査

ウ 結果

- ・学校内に設置しているネットワーク機器やLANケーブルの能力については問題がない。
- ・本市では、共有型のPPPoE方式ベストエフォート回線（1Gbps）を導入しており、学校外を含めた周囲の回線の利用者が多い場合など、実際の通信速度が遅くなってしまうため、ほとんどの学校で「学校規模ごとの当面の推奨帯域」を満たしていない。

(3) ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

ネットワーク調査の結果を踏まえ、令和6年6月から情報収集及び改善策の検討を開始、令和8

年3月末までに、対象校における改善策を完了させることとする。

(4) 本市のネットワークに関する課題解決の方法及び実施スケジュール

インターネット通信回線契約を回線の使用者が限定された専有型ベストエフォート回線や専用線、共有型のI P o E方式などから、学校毎に適した回線に変更することにより、令和8年3月末までに、必要なネットワーク速度を確保する。